



新政会
坂井 英明
議員

栄町3―3地区について

質問 三番館撤退に伴う高林デパート整理後の栄町3―3地区の空洞化対策と再開発について伺う。

答弁 これまでの間、地域、地権者主体による再開発の検討に加え、昨年からは地元経済界を含めた民間による再開発の動きが出てきており、市としては中心市街地に必要な都市機能を備え、持続可能かつ身の丈に合った再開発を誘導すべく、支援体制を構築していきたいと考えています。

質問 再開発に対し、市は民間の動きに支援をするとし、民間は市に支援を要望している。市が話し合いの場に入り、支援の仕方を模索する考えは無いのか。また、支援とは国の補助メニューを利用したものか、市の施設を組み入れるような支援なのか伺う。

答弁 互いに連携を取った中で、それぞれの立場を尊重しながら、どのようなことをお互いがやるべ

きかを相談しながら進めています。計画策定後に、支援について検討していきたいと考えています。

地域活性化対策について

質問 滝川市の人口増へ向けた対策について、また、将来への展望について伺う。

答弁 本市は、空知地域がどの市町も人口減少に直面する中で最も減少幅が小さいですが、圏域人口の減少は本市にも大きく影響を及ぼすことから、環境の変化に対応し、将来にわたって維持、発展していけるよう、総合計画の将来都市像を実現していかなければならないと考えていますし、中空知地域の定住策についても必要であると考えています。

人口の増減には自然増減、社会増減がありますが、社会減対策の一つに現在協議中の定住自立圏構想の形成があります。目的は都市圏への人口流出を食い止め、人口の定住を図り、圏域で連携して生活機能の確保に向けて自立を図るものであり、現在、中空知5市5町での形成を目指しています。

他にも、健康寿命を延ばす対策

や子育て支援、産業政策にも力を入れ、人口増加、維持に向け新年度予算に盛り込んだところですが、自然増対策が大きな課題の一つであり、即効性のある有効な施策を講じることは難しい状況にありますが、様々な分野の施策を充実させ魅力ある街づくりを進めることで、若い世代の方々に定住していただけるよう努めていきます。

再生可能エネルギーの導入について

質問 環境省の再生可能エネルギー等導入推進基金事業グリーンニューデール基金の活用について伺う。

答弁 平成22年度に市庁舎の壁面への太陽光発電設備の設置や省エネ型の照明機器の導入に活用してきました。現在、北海道において基金造成された再生可能エネルギー等導入推進事業では、平成24年度から28年度を事業実施年度とし、地域の防災拠点等への再生可能エネルギーの導入支援が行われており、本市においては、広域避難所に指定されている滝川ふれ愛の里への小型風力、太陽光、太陽熱な

ど複合型のシステム導入について提案しています。

今後は道議会の議決を経て、正式に事業が採択された後、議会にも説明したいと考えています。

消費税増税後の市民生活への配慮について

質問 4月の消費税増税以降の市民生活に対する配慮について伺う。

答弁 高齢者など市民税非課税世帯を対象とした冬の生活支援券やプレミアム商品券発行事業など、国が行う低所得者対策や子育て世帯の影響緩和の給付事業として実施される臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金と併せ、切れ目のない市民生活の支援と市内における消費需要に結びつく地域経済対策に努めたところです。

大型予算を確保した建設事業費についても、雇用をはじめ地域経済の活性化に寄与すると考えており、公共工事等の早期発注にも配慮していきたいと考えています。

地域経済は一過性の事業だけでは十分に活性化されないと考え、数年後に同時に花開く事業を新年度予算に盛り込んだところです。